



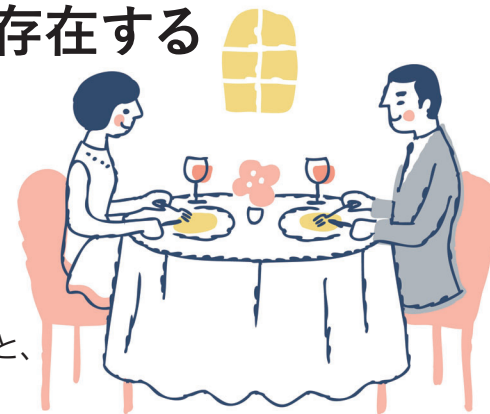
トーホーグループの存在意義

多彩な「食」のシーンを支えながら、 食文化の向上に貢献するために存在する

戦後まもない1947年、食糧難の時代に
「食の流通を通して社会を豊かにしたい」
という想いで創業しました。

「食を通して社会に貢献する」という経営理念

「美味しさ」そして「安心・安全、健康、環境」のキーワードのもと、
「食」のあらゆるシーンを支えながら、
食文化の向上に貢献し続けます。



CONTENTS

価値創造

- 04………… 経営体系/サステナビリティ方針
- 06………… トーホーグループの強み
- 08………… トーホーグループの歩み
- 10………… トーホーグループの価値創造の道筋
- 12………… トップメッセージ
- 16………… 財務担当役員メッセージ

サステナビリティ

- 30………… サステナビリティ方針の具体化
- 32………… 美味しくて、安心・安全な食の提供
- 36………… 持続可能な経営の継続
- 46………… 未来へ繋げるための環境対策の取り組み
- 50………… 個性の尊重と能力を発揮できる組織の構築
- 54………… 地域社会発展への貢献

経営戦略

- 18………… 前中期経営計画「SHIFT UP 2023」振り返り
- 20………… 新中期経営計画「SHIFT-UP 2027」
- 24………… 2023年度実績 ディストリビューター事業
- 26………… キャッシュアンドキャリー事業
- 28………… フードソリューション事業

- 55………… 会社概要
- 56………… 10年間の主要財務データ(連結)
- 58………… 連結貸借対照表
- 59………… 連結損益計算書、連結包括利益計算書
- 60………… 連結キャッシュ・フロー計算書

免責事項

本報告書にはトーホーグループの過去と現在の事実だけでなく、発効日時点における予想・予測・計画も含まれています。これらには記述した時点で入手できた情報に基づく仮定や判断が含まれ、諸条件の変化によって本報告書に記載した予想・予測・計画とは異なる可能性があります。読者の皆様には、このような点をご了承いただきますようお願い申し上げます。

報告対象組織

(株)トーホー及び連結子会社
報告の内容により範囲が限定される場合は、文中
もしくは表・グラフに対象範囲を記載しています。

報告対象期間

2024年1月期
(2023年2月1日から2024年1月31日まで)
※一部期間外の活動も含みます。

発行月

2024年 11月



トーホーグループの存在意義

「食」のあらゆるシーンを支えながら、食文化の向上に貢献するために存在する

新中期経営計画と共に
2030年のビジョンを策定しました。

トーホーグループは、更なる企業価値の向上を実現するため新中期経営計画「SHIFT-UP 2027」と同時に、2030年に向けた長期ビジョン「日本、そして海外の外食ビジネスの発展に貢献する企業グループを目指す」を策定しました。また、2021年にはサステナビリティ方針を定め、次頁の5つの項目をトーホーグループのサステナビリティ方針の重点課題と捉えています。引き続き、経営方針「食を通して社会に貢献する」「健康で潤いのある食文化に貢献する」のもと、日本のみならず海外でも外食ビジネスの発展に貢献できる企業グループを目指します。

 P20をご確認ください。

トーホーグループの経営体系

使命	経営理念	「食を通して社会に貢献する」 「健康で潤いのある食文化に貢献する」
	経営のキーワード	「美味しさ」そして「安心・安全、健康、環境」
目指す姿	社会から信頼され必要とされる会社へ	
よりどころ	経営憲章	企業は人なり 企業は天下の公器なり 質実剛健
	社是社訓	
	社員心得十カ条	
	toho group way	こだわるころ
基本方針	サステナビリティ方針	



トーホーグループのサステナビリティ方針

トーホーグループでは、食品とそれに関連するサービスを提供する企業グループとしての責任を自覚し、食を通して「社員・従業員」「お客様」「取引先様」「株主様」そして「地域社会」の5人のステークホルダーを豊かにする企業活動を実践し、“持続可能な社会の実現”と“事業の安定的な成長”を目指すため、以下の基本方針を掲げています。

 美味しくて、安心・安全な食の提供

私たちは食品を扱う企業グループとして、美味しくて、安心して食べられる安全な食品の提供が基本だと考えています。私たちは、お客様や取引先様に提供する食品の安全と食品事故の防止に努めます。お客様や取引先様に満足いただける美味しく安全な食品やサービスを提供することで持続可能で豊かな食生活に貢献します。

 持続可能な経営の継続

私たちは「企業は天下の公器である」と考えています。適時適切に情報を発信し、ステークホルダーとの対話を大切にし、経営の透明性を高めていきます。公正な取引やそれを支える企業統治の充実とともに、グループで働くひとり一人が公正な職場と健全な取引関係を築きあげ、ステークホルダーから支持される企業活動を通じて事業の安定的な成長を継続します。

 未来へ繋げるための環境対策の取り組み

私たちは未来の地球環境を今以上に良いものにしていきたいと考えています。食品を扱う企業として食品ロス削減による二酸化炭素排出抑制など気候変動緩和活動や環境保全活動を継続していきます。また、日常生活の中でも環境活動を推進できるよう従業員教育を継続します。

 個性の尊重と能力を発揮できる組織の構築

私たちは「企業は人である」と考えています。そのための基本である従業員の健康に配慮します。私たちの企業グループで働くことでひとり一人が成長し、その結果、会社も成長する教育を実践します。また、性別や国籍などで差をつけることなくそれぞれの人権を尊重し、個性を認め、持てる能力を存分に発揮できる組織作りを継続します。

 地域社会発展への貢献

私たちは地域・社会と共に成長していきたいと考えています。持続可能な地域の発展は、私たちの事業の基盤です。地域との様々な交流を通して地域・社会の発展に貢献します。また、私たちが扱う食品などを提供してくれる産地や生産者も意識し、共に成長できる活動を実践します。